

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2023年3月5日

事業所名 FC.LIG

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%		適切な活動スペースを確保しております。	体育館やフットサルコートをお借りして十分なスペースを確保しております。
	2	職員の配置数は適切である	50%	50%	他事業所からきてもらって人数を埋めている。	人員不足の為人員を補充し、適切な人数を配置していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%		体育館やフットサルコートにバリアフリーが設置されている場所をお借りしております。	トイレやスロープなどが設置されている場所をお借りしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%		業務週報を活用し、週の初めに目標設定・振り返りを各スタッフが行っております。	課題に対してスタッフ全員の意見を出し目標設定をし、朝礼・終礼や週に1回のカンファレンスで振り返り、改善案を出し合っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%		評価表を活用し集計後、事業所内共有をし保護者様の意向を把握・業務改善に繋がるようスタッフで話し合いを行っております。	回収したアンケートをスタッフ全員に共有し、改善策をスタッフ全員で考え改善につなげております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%			ホームページにて公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	70%	30%	コンサルタントの方に外部評価を行っていただき、業務改善に努めております。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%		月に一度の全体会議の中で社員による研修や外部の方に来ていただいて研修を行っております。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%		契約時に標準化されたアセスメント用紙をお渡ししそれを基に、支援計画を作成、半年に一回支援計画見直しの面談を行いお子様の成長に合わせた支援計画の作成ができております。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%			標準化されたアセスメントツールを使用しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%		メニューを共有する際に運動の目的や意図を伝えて行っております。	子ども達に合ったメニューを立案し、チームに共有して共通認識を持って行っております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%		固定化しないようにローテーションでリーダーを回しております。	運動メニューの発案に特化したスタッフを中心に既存の運動資料を基にしなが、新しい運動メニューを週に1回は増やすことや同じメニューでもルールを変えるなどバリエーションを増やして、活動プログラムが固定化しないような工夫を行っております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%		休日や長期休暇は他事業所との交流を提供しております。	祝日や長期休暇は他事業所との合同練習や試合を行い、いつもとは違う環境を提供しております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%		契約時に標準化されたアセスメント用紙をお渡ししそれを基に、支援計画を作成、半年に一回支援計画見直しの面談を行いお子様の成長に合わせた支援計画の作成ができております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%		朝礼や事務時間に1日の支援内容や役割分担について確認し、時間の都合上参加できていないスタッフにはSNSで共有し、全員が把握できる工夫を行っております。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	70%	30%	送迎があり、終礼の時間が取れていないので、メモを残して次の日の朝礼で共有するように努めております。		

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%		お帳面を活用し、その日の活動内容・お子様のご様子を記入して、日々の朝礼・終礼、金曜日のカンファレンスの内容も記録し保存できております。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%		半年に一度モニタリングを保護者様に確認・面談を経て放課後等デイサービス支援計画の見直しの必要性の判断を行っております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%		ガイドラインの基本活動を取り入れた支援が行えております。	
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%		サービス担当者会議が開催されている際は、最もふさわしい者が参画しています。相談支援事業所ともより密に連携を図っていきたくと思います。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%		送迎の際に学校の先生からお子様その日のご様子を伺ったりデイでの様子もお伝えする等、情報共有をし送迎時のトラブル発生の際は学校への連絡を行っております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	70%	30%	現状、医療的ケアが必要なお子様がいない為、必要があれば、連絡体制を整えてまいります。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%		基本保護者様からの情報共有が主になりますが、児童発達支援事業所で一部ではありますが情報共有できているところはあるので今後も情報共有・相互理解に努めてまいります。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%		現状、卒業して障がい福祉サービス事業所等へ移行するお子様はいない為行っておりません。必要があれば、保護者様の了解を得たうえで情報提供を行ってまいります。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%		今後、様々な関連機関との連携を深め助言・研修を受けてまいります。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%		地域のサッカークラブとの交流や去年の5月にはユニファイドサッカー大会という健全者や障がい者が一緒にサッカーをするイベント開催させていただきました。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%		現状感染症対策の為参加は出来ておりません。	今後、感染症の様子を見ながらそういった機会があれば積極的に参加していきたくと考えております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		送迎時に情報共有を必ずさせていただいております。保護者様に直接お伝えするのが難しい場合でもお帳面でその日のご様子をお伝えさせていただいております。	
保護者への説明責任	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%		ママキラ会を開催し保護者様同士の交流の場の提供を行ったり、ホームページのお役立ち情報にて様々な情報の公開を行っております。	三ヶ月に一度のママキラ会の開催を予定しておりますが、感染症対策もあり不定期な開催になってしまっております。オンラインの導入等工夫をし家族支援プログラムの支援を行ってまいります。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%		ご契約時に重要事項説明書に沿って運営規定、利用者負担等についてのご説明をさせていただきます。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%		送迎時に限られたお時間ではありますが、保護者様とお話させていただいております。支援計画の見直しの面談とは別に、直接事業所に来ていただき必要な助言・支援をさせていただきます事が可能です。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%		三ヶ月に一回のペースでママキラ会を開催し、保護者様同士の連携の支援を行うように努めてまいります。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%		お子様・保護者様からの相談や申し入れがあった場合にはスタッフ間で共有し迅速な対応を心がけております。	保護者様からのご質問があった際にはFCだよりに掲載したり、お手紙にてお渡しさせていただいております。ご意見に関しましては、スタッフ全員で共有し迅速に対応しておりますが、保護者様へのは周知できていないので掲載場所を検討していきたくと考えております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%		月に1回FCだよりを発行し、活動概要・行事予定・連絡体制を掲載し発信しております。	

等	35	個人情報に十分注意している	100%		個人情報が記載された書類は鍵付きの書庫で保管し、お手紙の渡し間違い防止のために、名前付きのお手紙ファイルに入れて管理しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%		保護者様との意思の疎通・情報伝達に関しましては、直接的なコミュニケーションだけでなくお電話やLINE等複数の手段を提供しております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%		現在、感染症対策の為事業所内の行事にはご利用様のみのご参加をいただいておりますが、様子をみながら地域の方にも参加していただける行事を企画出来ればと思っております。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%		各マニュアルは内容量が多いこともあり、ホームページに掲載してありますが、訓練の実施が出来ておりませんのでご意見も多かったお子様を含めた訓練を検討してまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%		年に一回防災の方にご協力して頂いて開催させて頂いております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%		虐待防止の為会議を行い、虐待防止への理解を深めております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて研修でも共有はしていますが、放課後等デイサービス計画に記載はできていないので、必要あれば記載してまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%		アレルギーのあるお子様は事前に確認し、再度保護者様に確認させていただいております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%		ヒヤリハット作成後事業所内だけでなく他事業所にも共有させていただいております。